

【ビクターセンター イベント案内】

県立丹沢湖ビクターセンター

●自然教室「野鳥観察はじめの一步」
はじめての方を対象に丹沢湖周辺で冬鳥の観察をします
【日 時】平成23年2月5日(土) 9:30~15:30
平成23年2月12日(土) 9:30~15:30
【対 象】小学生以上 20名 ※応募者多数の場合は抽選 ※小学生は保護者同伴
【参加費】1人 1,000円
【締切日】平成23年1月24日(月) 必着
【申込方法】往復はがき、またはFAX(返信用FAX番号明記)に行事名、参加者全員の氏名・年齢・住所・電話番号、参加希望日を記入して、締切日必着でお送りください。詳細は締切後、返信にてご案内いたします。

県立宮ヶ瀬ビクターセンター

●企画展「丹沢の素敵な場所、変な場所」
【展示期間】平成22年11月20日(土)
~平成23年3月31日(木)
【内 容】丹沢には、感動をみんなに分けたいような素敵な場所がたくさんあります。一方、問題をかかえて悲しくなるような場所もあります。そうした風景を写真で紹介いたします。

●自然教室「丹沢の動物探偵団！」
丹沢山麓で動物たちのくらしをのぞいてみよう！
【日 時】平成23年3月5日(土) 10:00~15:30
【対 象】小学生以上 30名 ※応募者多数の場合は抽選 ※小学生は保護者同伴
【参加費】1人 1,000円
【締切日】平成23年2月15日(火) 必着
【申込方法】往復はがき、またはFAX(返信用FAX番号明記)に行事名、参加者全員の氏名・年齢・住所・電話番号を記入して、締切日必着でお送りください。詳細は締切後、返信にてご案内いたします。

県立秦野ビクターセンター

●自然教室「野鳥の世界をのぞいてみよう！」
野鳥観察の方法を学びながら、野鳥をじっくり観察します
【日 時】平成23年2月11日(金・祝) 9:30~16:00
【集合解散】県立山岳スポーツセンター(秦野ビクターセンターから徒歩5分)
【対 象】小学生以上 30名 ※応募者多数の場合は抽選 ※小学生は保護者同伴
【参加費】1人 1,000円
【締切日】平成23年1月27日(木) 必着
【申込方法】往復はがき、またはFAX(返信用FAX番号明記)に行事名、参加者全員の氏名・年齢・住所・電話番号を記入して、締切日必着でお送りください。詳細は締切後、返信にてご案内いたします。

県立陣馬自然公園センター

●特別展「神奈川県立陣馬相模湖自然公園の写真展」
【展示期間】平成22年11月2日(火)
~平成23年1月30日(日)
【内 容】陣馬相模湖自然公園の魅力再発見！一般の方からご応募いただいた約40点の写真を展示しています。



2011
1月号
No.83

~自然公園から季節のたよりをお届けします~
神奈川県自然公園だより
丹沢大山国定公園 県立丹沢大山自然公園 県立陣馬相模湖自然公園 富士箱根伊豆国立公園

冬の観察 地衣類

皆さんは「○○ゴケ」と名前がつくものにはどんなイメージを持っているでしょうか？日本では一般に小さいものに○○ゴケという名前がつけられたようです。しかし、薄紫色の小さな花が咲くサギゴケは種子植物、緑の絨毯のように地面を覆うスギゴケはコケ植物、樹皮を幾つもの扇子を広げたように覆うウチワゴケはシダ植物、ウメノキゴケは地衣類です。このように、どれも「○○ゴケ」という名前がつけますが、その中には植物と地衣類があります。

葉が落ちて草が枯れた冬は、足元の岩や崖・樹皮などが良く見え、絶好の地衣類の観察シーズンです。

地衣類とは、藻類と菌類が共生した生物です。日本に1200~1600種があると言われ、北極圏~砂漠地帯・海岸~草木の生えない高山・排気ガスで汚れた大気のところや火山性のガスの発生しているところまで様々な環境に生きていますが、まだまだ研究が進んでなく、名前の付いていないものもたくさんあります。また、とてもユニークな形をしている点も地衣類の面白いところです。葉っぱのような形【葉状地衣】・まばらなブラシのような形【樹状地衣】・ぺったりついたもの【瘤状地衣】の大きく3つに分けられます。

一年で数ミリしか成長しないにも関わらず、ブナの樹皮や岩をびっしり覆っている姿を見ると、一体どれほど生きているのだろうと感心します。

しかし残念なことに、大気汚染・環境の変化に敏感なため、近年丹沢から姿を消してしまったり、容易に見られなくなってしまった種類もあります。(木村)



地衣類のついたブナ



ウメノキゴケ(葉状地衣)



ヒメレンゲゴケ(樹状地衣)



ダイダイサラゴケ(瘤状地衣)

((写真提供: 南常俊氏))

自然公園へ出かけよう



◆ 年末年始のお休み ◆
神奈川県立のビクターセンター 12/29~1/3
環境省のビクターセンター 12/28~1/1

◆ 通常の休館日は直接お尋ねください

県立宮ヶ瀬ビクターセンター

〒243-0111 清川村宮ヶ瀬940-15
Tel 046-288-1373 Fax 046-288-1162
開館時間 9:00~16:30
(1/4~2/28は16:00閉館)
<http://www.kanagawa-park.or.jp/miyagase/>

県立秦野ビクターセンター

〒259-1304 秦野市堀山下1513
Tel 0463-87-9300 Fax 0463-87-9311
開館時間 9:00~16:30(通年)
<http://www.kanagawa-park.or.jp/hadanovc/>

県立陣馬自然公園センター

〒229-0201 相模原市緑区佐野川1659-3
Tel 0426-87-5270 Fax 0426-87-5270
開館時間 9:00~16:30
(12/11~3/31は16:00閉館)
<http://www.kanagawa-park.or.jp/jinba-vc/>

県立丹沢湖ビクターセンター

〒258-0202 足柄上郡山北町玄倉515
Tel 0465-78-3888 Fax 0465-78-3777
開館時間 9:00~16:30
(1/4~2/28は16:00閉館)
<http://www.kanagawa-park.or.jp/tanzawakvc/>

県立西丹沢自然教室

〒258-0201 足柄上郡山北町中川867-2-9
Tel 0465-78-3940 Fax 0465-78-3940
開館時間 8:30~16:30
(12/11~3/31は16:00閉館)
<http://www.kanagawa-park.or.jp/nishitanzawa/>

環境省箱根ビクターセンター

〒250-0522 足柄下郡箱根町元箱根日礼場164
Tel 0460-84-9981
開館時間 9:00~17:00(入館は16:30まで)
<http://www.mmjip.or.jp/hakonevisitorcenter/>

編集・発行: 財団法人 神奈川県公園協会公園課 〒231-0027横浜市中区扇町3-8-8 関内ファーストビル6階
TEL: 045-651-0931 FAX: 045-651-0932
自然公園課: si_zenkouen@kanagawa-park.or.jp

ホームページ <http://www.kanagawa-park.or.jp/>

神奈川県公園協会

検索

後援: 丹沢大山自然再生委員会

2010年西丹沢“勝手に”10大ニュース 《西丹沢自然教室》

今年も丹沢全体では、いろんな出来事がありました。来館者などにアンケートの協力をお願いして決めた「2010年西丹沢“勝手に”10大ニュース」は、次のとおりでした。

- 第1位 西丹沢に台風9号による豪雨で、深刻な土砂災害が発生した。
- 第2位 登山道からの滑落事故とヘリ救助が6月に連続して発生した。
- 第3位 登山者数が、昨年より1割以上増加して、過去最大になった。
- 第4位 西丹沢自然教室で携帯電話(DoCoMo, Softbank)が利用可能になった。
- 第5位 7, 8月に猛暑日が連続した。
- 第6位 大杉山近辺で、ヤマビルが出るようになった。
- 第7位 かながわパークレンジャー等がトイレゴミ持ち帰りキャンペーンを行った。
- 第8位 イヌワシの若鳥が確認された。
- 第9位 青ヶ岳山荘が素泊まりの山小屋になった。
- 第10位 プナハバチが発生し、槍洞丸山頂近くでは葉がかなり食べられた。さて、来年はどんな一年になるでしょうか。(倉持)



道路や登山道が一時通行できなくなった



今年も30回程度の遭難救助活動があった

冬山の楽しみ 《宮ヶ瀬ビジターセンター》

12月中旬になって一気に気温が下がり、登山にはアイゼンやスパッツなどの冬山装備が必要になってきました。

こうした時期ならではの楽しみを紹介しましょう。夜間の気温がとても下がった時、朝早く急いで山に登ります。標高1000mを越えた頃から、樹木が白くなっていきます。氷点下になったため空気中の水分が凍って枝等にこびりついたもので、霧氷と呼ばれています。朝の澄んだ光に輝く霧氷は格別の美しさがあります。でも、太陽が昇るにつれてどんどんと溶けていくのが残念です。

数年前の体験です。丹沢山周りで霧氷の中を歩いていると、霧に映った自分の影の周りに虹がでていました。これはブロッケン現象と呼ばれるもので、条件が良ければ季節を問わず見られますが、そうそう起きる現象ではありません。私も丹沢での体験はこの1回しかありません。

寒い冬も楽しみが一杯の登山ですが、無理をしないで安全を心がけてください。(青木)



霧氷



ブロッケン現象

冬客来箱・毛虫来館 《箱根ビジターセンター》

冬客来箱

北国から多くのカモたちが芦ノ湖にやってきて、冬の訪れを告げました。ホシハジロ、キンクロハジロ、マガモ、コガモ、オオバン等々…真冬の湖はカモたちの楽園です。これから春までカモ類を観察するには、ビジターセンターから歩いて約15分の湖尻水門付近、または観光船の桃源台駅付近がいいでしょう。



左: キンクロハジロ 右: オオバン

毛虫来館

初冬のある日、事務室の壁に何かが這っているのに気がきました。よく見てみると小さな毛虫。ヒトリガの仲間のアメリカシロヒトリの幼虫と思われます。紅葉パウチサービスのために採集してきた葉の中にまぎれこんでいたのでしょうか。その後の消息は不明ですが、このままどこかで冬を越して成虫になるのでしょうか。とかく嫌われ者の代表にされてしまう毛虫も、これだけ小さいと可愛いものですね。(加藤学)



アメリカシロヒトリ幼虫

静かで賑やかな冬の森！ 《秦野ビジターセンター》

丹沢にも雪が積もる季節です。雪が積もると、よく見えてくる物があります。それは雪上の動物たちの足あとです。冬の静まりかえった森が急に賑やかに見えてくるのです。

～足あとから分かること～

その1-何の種類の動物が通ったのか！

((ネズミやニホンリスなど、小さな動物が通ったあとでも分かる!))

その2-いつ頃か! (足あとの新鮮さや雪の降った時間などから推理)

その3-行った方向

その4-何をしたのか、何が起ったのか分かったりする!

((足あとの付き方や食べあと、周りの様子など、いろいろな情報から推理!))

他にもどんなことが見えてくるだろう!

冬の丹沢に登るにはアイゼンなどの装備が必要です。「そこまではちょっと……」という方も、山麓の林や林道で動物たちの活動を目撃する大チャンスです! (柳川)



タヌキの足あと



ノウサギの足あと
別の足あとも交差している



登山道に続く
ハクビシンの足あと